

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
田中響 (t_hibiki@tcn.ac.jp), 土居裕美子			
授業形態	時間数		科目区分
講義	15時間		基礎分野【人文科学】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <input type="checkbox"/> 看護師資格必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格必修 <input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許必修 <input type="checkbox"/> 看護師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許選択必修
	<p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <input type="checkbox"/> 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 <input checked="" type="checkbox"/> 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 <input type="checkbox"/> 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 <input type="checkbox"/> チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 <input type="checkbox"/> 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力
	<p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <input type="radio"/> 担当している <input checked="" type="radio"/> 担当していない
	<p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p>
	<p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <input checked="" type="radio"/> 受入可 <input type="radio"/> 受入否
	<p>受入可能人数 若干名</p>

授業の概要	<p>人が人を思いやり、寄り添う人間関係が基本にあることによって、看護はその力を発揮する。つまり、患者の思いを大切に受け止めて理解し、その心に寄り添い、患者にどう向き合うか、そこに看護の出発点がある。この基本を踏まえて、本授業では看護におけるホスピタリティとは何か、ホスピタリティはなぜ必要なのかを考察する。看護や介護、病院といった狭い人間関係に限定せず、日常生活の様々な場面を想定して、社会人としてのマナーやホスピタリティ・マインドのポイントとその技法を学ぶ。</p>
-------	---

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護におけるホスピタリティの必要性を理解出来る。</li> <li>相手の気持ちを知り、向き合って関わるために、自分自身を知る。</li> <li>相手の気持ちに寄り添うということが自分にとってどういう事であるか、言語化できる。</li> </ul>
------	--

授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	・オリエンテーション ・ホスピタリティとは	講義	【予習】 ①自己紹介 自身がなぜ看護職に就きたいと思ったかを相手に伝える内容を考えてくる ②ホスピタリティについて調べてくる	1時間	田中
	2	ポジティブコミュニケーション	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく	1時間	土居
	3	自分を知る 表現する アサーション①	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく	1時間	土居
	4	私の表現の仕方について知る アサーション②	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく	1時間	土居 田中
	5	他者と自分の違いを知る アサーション③	講義	【予習】 ・配布された資料をもとに、自分の意見を考えておく	1時間	土居

	6	医療におけるホスピタリティを考える ・日常の場面で受けたおもてなし事例、実践したおもてなし事例を紹介しあう	講義	【予習】 ・患者・家族は医療に何を求めるか ・病がもたらすもの 日常との相違 (事前にこれらを考えておく)	1時間	田中
	7	医療者、看護師になるということ (大切にしたいこと)	講義	看護者の倫理綱領を理解する	1時間	田中
	8	ホスピタリティを実践する	講義	配布資料を読み私を表現する 看護を学び、生きることを楽しむ	1時間	田中 土居
先行履修科目	なし					
テキスト	授業で資料を配布する。					
参考文献	平木典子：相手の気持ちをきちんと〈聞く〉技術 会話が続く、上手なコミュニケーションができる！, PHP, 2013					
評価方法	レポート100%(課題レポート30% 最終レポート70%)					
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法	毎回の授業の中で、フィードバックします。					
備考	授業の中でグループワークを行います。積極的に参加しましょう。					

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
土居裕美子 他 (ydoi@tcn.ac.jp)			
授業形態	時間数		科目区分
講義	15時間		基礎分野【社会科学分野】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 看護師資格必修</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 保健師資格必修</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 養護教諭二種免許必修</li> <li><input type="checkbox"/> 看護師資格選択必修</li> <li><input type="checkbox"/> 保健師資格選択必修</li> <li><input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許選択必修</li> </ul> <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力</li> <li><input type="checkbox"/> 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力</li> <li><input type="checkbox"/> 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力</li> <li><input type="checkbox"/> チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力</li> </ul> <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 担当している</li> <li><input type="checkbox"/> 担当していない</li> </ul> <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>地方自治体の職員として地域に関わる実務経験のある教員が指導する。地域志向科目として、地域の人びとの暮らしや生活、地域の在り方についての理解を深める科目である。</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 受入可</li> <li><input type="checkbox"/> 受入否</li> </ul> <p>受入可能人数 5名</p>
------	--

授業の概要	現在、地域を支えるため、自治体・企業・NPO・地域コミュニティ・教育機関や住民など、地域創生に関わる各主体がさまざまな手法で活動している。本科目では、「地域とは何か」「なぜ、地域創生なのか」の理解からはじめ、地域づくりの現状と課題、地域活性化への関心を高めるとともに、ディスカッション・グループワークを通して地域創生についての自身の考えを深めていく。
-------	---

到達目標	<p>①地域創生に関する具体的な事例の考え方や手法、現状と課題について理解する</p> <p>②地域創生の可能性について自身の考えを表現（提案）することができる</p> <p>③地域で暮らす人々の健康と生活を支えるために自身にできること・したいことを表現することができる</p>
------	---

回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
1	オリエンテーション 講義概要と進め方について	講義・演習	事後：「地域と看護」について調べて考えたことをまとめる	2時間	土居
2	文化・芸術によるまちの創生 ①活動の理念や実態を理解する	講義・演習	事後：	2時間	竹内
3	文化・芸術によるまちの創生 ②活動の可能性や課題を理解する	講義・演習	事後：学んだことを小レポートにまとめる	2時間	竹内
4	地域創造活動としての「ソーシャル・アートセラピー」① ソーシャル・アート・セラピーの取り組み	講義・演習	事後：ソーシャル・アート・セラピーなど授業で提示された事例について調べる	2時間	石田
5	地域創造活動としての「ソーシャル・アート・セラピー」 ②ウェル・ビーイングと芸術	講義・演習	事後：学んだことを小レポートにまとめる	2時間	石田

	6	自治体の地域創生施策① 倉吉市の取り組みから学ぶ	講義・演習	事後：自身の暮らすまちの取り組みについて調べる	2時間	竹内
	7	自治体の地域創生施策② ワークショップを通して考える	講義・演習	事後：学んだことを小レポートにまとめる	2時間	竹内・木藤
	8	学びの振り返り	講義・演習	事後：「地域創生」について改めて学んだことをふり返り、まとめる	2時間	土居
先行履修科目	「山陰論」を履修していることが望ましい					
テキスト	特に指定せず、必要に応じてハンドアウトを配付する					
参考文献	適宜紹介する					
評価方法	最終レポート（60%）・小課題（40%）を総合的に評価する					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	提出物については適宜クラス全体にシェアして学びを共有する					
備考	本科目は地域志向科目です。地域に暮らす人の生活と健康を知り、2年次科目「地域志向実践論」「地域志向実践演習」につなげる内容としています。					

講義科目名称： 山陰論

ナンバリング： N-13-01-D

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
土居裕美子 他(ydoi@tcn.ac.jp)			
授業形態	時間数		科目区分
講義	15時間		基礎分野【社会科学】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 看護師資格必修</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 保健師資格必修</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 養護教諭二種免許必修</li> <li><input type="checkbox"/> 看護師資格選択必修</li> <li><input type="checkbox"/> 保健師資格選択必修</li> <li><input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許選択必修</li> </ul> <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力</li> <li><input type="checkbox"/> 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力</li> <li><input type="checkbox"/> 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力</li> <li><input type="checkbox"/> チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力</li> </ul> <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 担当している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 担当していない</li> </ul> <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 受入可</li> <li><input type="checkbox"/> 受入否</li> </ul> <p>受入可能人数 5名</p>

授業の概要	世界中に情報が行きわたり、地球上の経済・社会のグローバル化が進行している。その反面、それぞれの地域の固有な文化が見直されている。この授業は、本学における「地域志向科目」として地域を知るスタートの学びとして位置づけ、歴史・文化、医療・福祉の分野における「山陰」という地域の現状と課題、特色や意義についての理解を深める。そうした理解を踏まえたうえで、今後どのような地域貢献ができるのか、ディスカッション・グループワークを通して考えを深めていく。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰地方の歴史と文化、社会と人々の生活などについて基本的理解をもつ。</li> <li>・地域社会の一員として、地域のあり方や発展について自分の考えを表明できる。</li> <li>・講義の内容を踏まえ、地域で暮らす人々の健康と生活を支えるために自身にできること・したいことを明確に表現することができる。</li> </ul>					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	オリエンテーション「山陰」とは・山陰の歴史と文化	講義	山陰地方の概要を確認したうえで、歴史的文化的意義について考える	2時間	土居
	2	山陰の民俗（1）ひとはなぜ葬送にこだわるのか	講義	宗教に寄って葬式（土葬・火葬・風葬）がどのように違うか知っておく	2時間	喜多村
	3	山陰の民俗（2）葬送・墓の歴史と文化	講義	授業で理解した内容を踏まえ、レポートを作成する	2時間	喜多村
	4	山陰の福祉（1）山陰ゆかりの福祉関係者とその思想	講義	山陰ゆかりの福祉関係者について自身で調べる	2時間	國本
	5	山陰の福祉（2）障害福祉の父の思想から考える実践	講義	授業で理解した内容を踏まえ、レポートを作成する	2時間	國本
	6	山陰の福祉（3）育児事業史を手がかりとして	講義	授業で理解した内容を踏まえ、レポートを作成する	2時間	菅田
	7	山陰の地域看護 —地域医療・看護の現状と課題	講義	授業で理解した内容を踏まえ、レポートを作成する	2時間	小石

	8	山陰のことばと文化 —「看護」と方言	講義	授業で理解した内容を踏まえ、レポートを作成する	2時間	土居
先行履修科目						
テキスト	授業で使用する文献については、テキストとしてハンドアウトを配付する。					
参考文献	参考文献は授業中に適宜紹介する。					
評価方法	各単元の小レポート60%、学びの振り返りレポート40%を総合的に評価する。					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	レポートは、学びの振り返りに活用できるよう、コメントを付してフィードバックを行う。					
備考	私たちが生活している山陰、郷土のさまざまなことがらに目を向け、関心を持ち、理解し、自分の立場から地域にどのように貢献できるか、授業を通して考えていきましょう。					